

説 教

Open Church 礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2022年11月20日（日）

主 題：「感謝しましょう！」

—出合い—

テキスト：ルカによる福音書24章1～12節

はじめに

・おはようございます。

- ・たった一度しかない人生、私たちはどのように生きているのでしょうか？
生き方を知っている人は幸いです。しかし、中には人生の意味が分からず、
心配や不安持って生きる人もいるでしょう。
- ・聖書：3:17ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによつて父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。（コロサイ）
- ・聖書は、⇒ 感謝心をもって生きる生活を教えています。
しかし、感謝できない時もあります。では、なぜ聖書は「神に感謝しなさい」と教えているのでしょうか。
⇒ そこには「逆説的真理」があるからです。
- ・本日の聖書テキストをご覧ください。それはイエス・キリストは捕らえられ、十字架にかけられ、墓に埋葬された時のことでした。それは人生で一番悲しい時、失望を覚える時でしょう。特に愛する人を失った時の悲しみは大きなものです。
- ・イエスの墓に女性たちが向かっていました。その時の様子を聖書は次のように記しています。 **ルカ福音書**
24:4 そのため途方に暮れていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着た人が二人、近くに來た。
24:5 彼女たちは恐ろしくなって、地面に顔を伏せた。すると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。
24:6 ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、主がお話しになったことを思い出しなさい。
24:7 人の子は必ず罪人たちの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえると言われたでしょう。」

- ・イエス・キリストは復活されたと聞きました。女性たちは信じる事ができませんでした。普通、私達も死人が復活するとは、まず信じられませんね。しかしイエス・キリストはよみがえられました。途方に暮れた女性たちでしたが、イエス・キリストの復活によって人生が変わりました。**イエスの復活はキリスト信仰の中心です。**
- ・死を克服することは人生の勝利を意味します。人にはできないこと、すなわち神にしかできないわざです。じつは、私達は、その勝利をおさめられたイエス・キリストを信じるものです。死を克服されたお方は真の救い主です。勝利者です。だれでもイエス・キリストを信じる人は、死を克服する勝利者となることができます。そこに⇒ 感謝の心が生まれてきます

大切なポイント

1. 神に感謝しましょう

1) キリストの復活がないなら

- ・仮にイエス・キリストの復活がないとするならば、世界歴史をどのように説明できるでしょうか。全世界にあるキリスト教会は、約2千年間、フェイク・ニュースを語り伝えてきたこととなります。
- ・イエス・キリストの復活を信じ、生涯をキリストにささげたクリスチャンたち、宣教師、牧師はもっとも愚か者ではありませんか。宣教師はイエス・キリストの復活のメッセージを携えて、異国に出て行きました。そしてキリストの復活を宣べ伝え、多くの宣教師が生涯を捧げてきました。
- ・また宣教師たちによって、日本をはじめ世界各地にミッション・スクールが建てられ、大切な教育が行われています。また宣教師たちによって、キリスト教病院も建てられ、地域の多くの人々に医療を通して貢献してきました。それによって、多数の人々が助けられてきました。
- ・また宣教師たちによって、社会福祉施設や老人ホームも建てられてきました。そして社会に仕えてきました。その尊い働きは人々を助けてきました。
- ・もしキリストの復活がないならば、いったい何のために宣教師や牧師は、これらの働きしてきたのでしょうか。 **マルコの福音書 16章**
16:15 それから、イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。」
- ・それは福音（良い知らせ）を知らせるように、イエス・キリストが命じられたからです。クリスチャンたちはイエスのことばに従順でした。
第一コリント人への手紙 15章

15:13 もし死者の復活がないとしたら、キリストもよみがえらなかつたでしょう。

15:14 そして、キリストがよみがえらなかつたとしたら、私たちの宣教は空しく、あなたがたの信仰も空しいものとなります。

15:15 私たちは神についての偽証人ということにさえなります。なぜなら、かりに死者がよみがえらないとしたら、神はキリストをよみがえらせなかつたはずなのに、私たちは神がキリストをよみがえらせたと言って、神に逆らう証言をしたことになるからです。

- ・ イエス・キリストは復活されました。何よりも私の人生が変えられました。そして神の祝福にあずかりました。これは自分自身が経験し、知っていることです。ですからキリスト信仰の中心は、イエス・キリストの復活にあります。

2) キリストが復活されたなら

- ・ 聖書は「死は勝利に呑みこまれた」（1コリント 15:54）と語っています。そして更に次のように語っています。

15:57 しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。

- ・ ですから私たちは勝利者となりましたから、勝利を与えてくださった神に感謝の心がわいてきます。
- ・ 復活信仰に立つ人は、人生が変えられます。どのように変えられるのでしょうか。不安や心配の人生ではありません。勝利の人生へと変えられるのです。それは、今も生きておられる神がなされるわざであります。

◎ 感謝しましょう

① 自分の弱さを嘆いている人、感謝しよう

- ・ あなたは今、人生で闘い、疲れを覚えているかもしれません。自力では、どうすることもできなく、限界を感じているかも知れません。あるいは、自分では出来ると思っていたが、自分の力の貧しさを覚えているかも知れません。しかし、それでもみ使いは、「あなたは生きているお方を、捜していることを知っている。」と言います。神はあなたを知っておられます。

② 重い足取りで教会に来た人、感謝しよう

- ・ あなたは誰かに誘われて、流れの中で渋々教会へ来られたかも知れません。しかし、それでも感謝しましょう。女性たちはイエスのお墓に行かなかつたならば、復活されたイエスを知ることはありませんでした。

③ 自分には死んだ信仰しかないという人、感謝しよう

- ・あるいはあなたは、すでにイエスを信じておられるかも知れません。しかし、自分には信仰はない。信仰は前にあったが、今はもう死んでしまったと思っておられるかも知れません。あるいは、あなたは教会に失望し、何も新しい力を見だせないと言われるかも知れません。しかし、あなたも、復活し生きておられるイエス・キリストに出会うことができます。

*皆さん！ 私たちは自分が弱った時でも、重い気持ちの時でも、悩みの時でも、とにかく教会へ来ることです。女性たちは落胆し、失望の中でお墓にやってきました。➡そこで天の使いが現れ、イエスは生きておられると語りました。あなたにも、よみがえられたイエスとの出会いがあります。

2. 正しいお方を求めよう

24:6 ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、主がお話しになった

ことを思い出しなさい。

- ・女性たちは、正しいお方を求めていました。イエス・キリストを求めていました。イエスは言われました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。私を通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」(ヨハネ 14:6)
- ・女性たちは、正しいお方を求めていました。イエス・キリストを求めていました。私たちが砂漠で「水」が欲しい時、大きな金魂がなんの役に立つことでしょうか。乾きを覚え死にそうな人には、「水」しか必要ではありません。
- ・いのちの水であるイエス・キリスト以外に私たちを癒すものはありません。

ヨハネ福音書 4 章

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

- ・たとえどれほど無味乾燥で、束縛を覚えておられたとしても、あなたがキリスト・イエスを求めるならば、必ず満たされます。

『例 話』元パレスチ・ゲリラの回心

- ・ここ 10 年ほど、世界中が心痛めるイスラム教過激派グループによる自爆テロ事件は、残念にも止むことはなく続いています。ワリッド・シェバード (Walid Shevard) 氏もその一人でした。彼はかつて過激派イスラム教徒でし

た。ジハード（聖戦）のためには、殉教しも恐れることなく活動していた男でした。しかし、その彼の人生に大きな転機がきました。

- ・彼は過激なイスラム教徒から一転して、イエス・キリストに回心しバプテスマを受けクリスチャンとなりました。ここに彼のドラマがあります。
 - ・彼は元 PLO メンバーで、イスラエルでテロ活動の最前線に立ち、激しい反イスラエル行動をとっていました。エルサレムの刑務所に入れられたりしましたが、出所後にはベツレヘムの銀行に爆弾を仕掛けたりもしました。爆弾を仕掛け、通りを爆発しましたが、狙っていた損害と犠牲者は出ませんでした。
 - ・その頃、彼の母親は米国籍を持っていたので、彼は米国へ移住することになりました。そしてシカゴにあるループ・カレッジ (Loop College) に入学したところ、そこでテロリストグループのメンバーと出会うことになりました。彼らとの出会いが、人生を狂わせてしまいました。
 - ・彼とテロリストとの接点は、次第に深まっていきました。そして「テロリスト集会」に参加し、ジハードのために戦う基本的訓練も受けるようになりました。
 - ・彼はその後、米国人女性と結婚しました。しかしその女性はカトリック教徒で、彼とは聖書について何度も議論を重ねました。彼は、ユダヤ人は聖書を誤って理解していると主張し、彼女との激しい議論は何度も並行線でした。そこで彼は自分の主張を裏付けるため、自分で聖書を読み始める決心をしました。
 - ・彼は熱心に聖書を読み始めると、神の御霊が彼に臨まれ、語りかけられたのです。そして聖書は真理を語っていることを認め、自分の誤りと愚かさがはっきりしました。それ以来、彼はイスラエルの立場を理解する側に立ち、180度の大転換が起きました。
- ・彼には2つの「出会い」がありました。一つはテロリストの出会いでした。もう一つはカトリック信徒の女性との出会いでした。そして彼は自分の目で聖書を読み始めるようになった時、神が語り帰らかけられました。すると、自分の誤りがはっきりし、聖書の神を信じるようになりました。

ま と め

主 題：「感謝しましょう！」

—出会い—

- ・神は今朝、私たちにお語りくださいました。
一度しかない貴重な人生を、私たちは送っています。感謝の心で歩んでいる

でしょうか。あるいは不安や不満、迷いの人生を送っているでしょうか。

- 人生には予期し得ない「出会い」があります。イエスの墓に向かった女性たちは、天使たちとの出会いがありました。それはイエスが復活されたという「良き知らせ」(Good News)でした。

あなたは「どんな出会い」をされ低r でしょうか。

- 「良き知らせ」を聞いた人(出会い)は、感謝の心に満たされます。

聖書の勧め➡

3:17 ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。
(コロサイ人への手紙)

*God bless you!